

調印
富士フィルム九州技術開発部門新設
「工場などの増設に係る協定書」に調印

商工振興課 ☎(232)2165

富士フィルム株式会社(代表取締役社長中嶋成博氏)は、子会社の富士フィルム九州株式会社(代表取締役社長坂本敏氏)に技術開発部門の新設を決定し、4月16日に蒲島郁夫熊本県知事の立会の下、菊陽町と協定を締結しました。

富士フィルム九州は、液晶パネルに欠かせない偏光板保護フィルム「フジタック」を生産しています。グループでの同フィルムの世界シェアは約7割強を占めます。そのうち富士フィルム九州株式会社の生産能力は、全体の55%をカバーする拠点工場です。

液晶テレビは、大画面化の進展とともに画面面積が年率2桁の成長をみせており、また、タブレットPCやスマートフォン向けの中小型液晶パネルの需要が増えるなど、今後も偏光板保護フィルム市場の成長が見込まれています。

今回の投資は、多様化する需要と顧客ニーズに迅速に対応するため、新たに26人の技術者を配置。生産現場での材料の配合や新たな製造方法の開発などを進めます。



▲(左から)富士フィルム(株)中嶋社長、蒲島県知事、後藤町長

社長は「生産現場と開発拠点は、密接な連携が必要であり、近接することが望ましい。富士フィルム九州には、現在最新の設備があり、様々な対応が取れることから、技術開発部門を新設した。今後も熊本県や菊陽町と良好な関係を続けていきたい」とあいさつしました。また、後藤町長は「技術開発部門を新設されることで、名実共に世界一の生産拠点となった。大変頼もしく、そして誇りに思う。さらなる飛躍に向け、お手伝いをしていきたい」と述べました。

男女共同参画
支え合う ともに歩む 幸せのみち

総務課 男女共同参画推進係 ☎(232)5536



菊陽町男女共同参画社会推進懇話会委員 米村 憲子さん

幼い頃から私には「母はつらいだろうな」という思いが常にありました。その当時、私の実家は封建的な家柄の大家族であり、母は早朝から夜遅くまで休むことなく立ち働き、くつろいでいる姿など見たことがありませんでした。納戸の隅で涙している母をしばしば見ることもあり、子どもながらに「母にはどれ程の自由があるのだろう」と思ったものでした。まさに嫁として家に仕える人生を送っていました。今、八十路を生きる母は元気に家事にいそしみながら楽しく暮らしています。

正月に帰省した息子と、結婚について話した折「お母さんの生き方を否定するわけではないけれど、俺は結婚しても、家庭を妻に任せるといえるのではなく、共に働き、それぞれが自分の能力を発揮しながら努力し、高め合う関係でありたい。そして、家庭のことも助け合っていきたいと

思っている」といった内容の話聞き、息子の内面の成長を知り頼もしく思ったことでした。昭和初期に生まれ育った母たちの世代、平成に育った息子たちの世代、還暦も間近の私自身の思いも重ねながら、社会の変化の中で、より人権尊重の意識が育っているのを感じます。私自身は、心のどこかに、男女の役割を固定的に捉える意識があり、悩むこともありますが、男女平等の理念を礎に、日本の伝統的精神文化の麗しいものは尊重していきたいものだと考えています。男女共同参画社会を考えるとき、やはり大切なことは、性差を理解しながら、お互いを認め合い、励まし合い、感謝し合ってお互いの役割を果たしていく事だと思えます。日々の暮らしの中に「考えよう相手の気持ち、育てよう思いやりの心」は、いつも自分の胸の中にある言葉です。

菊陽町図書館開館10周年

きくよう・来・ぶらり～図書館にぶらっと来てはいよ！～

今年で開館10周年を迎える菊陽町図書館。4～5月にかけては「きくよう・来・ぶらり」と題して、多くの町民の皆さんに気軽に参加していただける催しがいっぱいです。5月の催しは次のとおり。全て入場無料です。ぜひ菊陽町図書館にお越しください。

5月3日(金)～5月6日(月)

『おたのしみ紙芝居』

- 場所 おはなしのへや
- 時間 午後2時から
- 対象 どなたでも参加できます

『女性だけのロアッソ観戦講座：初心者編』

- 講師 (株)アスリートクラブ熊本
- ①観戦入門編
- 日時 5月18日(土)・5月25日(土) 午前9時30分～午後0時30分
- 場所 図書館ホール「ホワイエ」
- ②番外編
- 実施日 6月9日(日)
- ※場所・内容などは調整中
- 対象 事前申し込みが必要

5月19日(日)『人形劇ぶっくる第11回定期公演』

- ・人形劇「はなさかじい」
- ・みんなであうたおう
- 場所 図書館ホール
- 開場 午前10時30分 開演 午前11時
- 対象 どなたでも参加いただけます



5月25日(土)～『リサイクル雑誌の無料配布』

- 場所 視聴覚室
- 時間 午前10時から
- 1人5冊まで持ち帰ることができます。なお、一度持ち帰った雑誌などは、図書館ではお引き取りできません。雑誌などがなくなりしだい、配布を終了します。
- 問い合わせ 菊陽町図書館 ☎(232)0404

「いちおしの本リスト」できました

後藤町長をはじめ町内企業などの代表者や町出身の人、町にゆかりのある人などにご協力いただき、「菊陽町図書館いちおしの本リスト」を作りました。

菊陽町図書館の企画に協力いただいているJリーグ「ロアッソ熊本」の監督・選手にも「いちおしの本」を紹介してもらいました。「子どもから高齢者まで」誰でも気軽に来てもらいたいという思いから、この「いちおしの本リスト」は、年代やジャンルを限定していません。ぜひ多くの町民の皆さんにご覧いただき、新しいジャンルの本に出会うきっかけになればと思います。



▲菊陽町図書館で配布しています

■問い合わせ 菊陽町図書館 ☎(232)0404

行政相談委員が委嘱されました

町の行政相談委員として、板楠和也さんが総務大臣から再委嘱されました。

行政相談委員は、行政相談委員法という法律に基づき、行政運営の改善などに熱意を持った人に委嘱されるものです。

■行政相談委員

住民の皆さんの暮らしの中で感じた役場の仕事についての苦情や要望、行政の仕組みや手続きに関する相談などを直接受け付け、住民と役場のパイプ役となり、その解決・実現のお手伝いをします。相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

■相談所

老人福祉センター
町は、定期的に相談所を開設しています。詳しい日程は、「広報きくよう」のふれあい総合相談のコーナーをご覧ください。

■問い合わせ

総務課 庶務法制係 ☎(232)2111